

モノサシ候補 「街路市など」

候補の理由 高知には各地に個性的な市がたくさんある。



日曜市



高知オーガニックマーケット

そのほかのモノサシ候補

イベント的な集まりや専門性の高いコミュニティなど、クラフトなど食以外の市やイベントが各地で生まれている。

モノサシ候補 「自然の中で遊べる場所がある」

候補の理由 高知にはまだまだたくさんの自然の中で遊べる場所がある。

- 食 用** 遊び場であり、季節の山菜などの採集場でもある。
- 生 活** 生活圏の中にもたくさんの遊び場があった。
- 知 恵** けがをしない工夫や、薬草などの使い方、生きものとの付き合い方も学んだ。
- 文 化** 昔から伝わる遊びや道具があった。
- 名 物** 竹とんぼなど自然の素材で遊び道具を作る名人がいた。
- 旬** 季節ごとの花を愛でたりできた。
- 社 会** 遊びなどを通じて社会性を学ぶ場所でもあった。
- 誇 り** 自然の中で遊べる場所が地域にあること。



撮影 RYOKO



そのほかのモノサシ候補

伝統的な知恵の継承ができる場所。暮らしの知恵を学ぶ場所。異なる世代が交流できる場所。

「暮らしの中の豊かさ」

鈴木昌樹子

私の暮らしている集落には班単位で管理している水道がある。水道といっても沢から黒いホースで各戸へ繋いだ簡易なものだけど洗濯や風呂、野菜や道具を洗う、カニやうなぎの生け簀など、生活の水として重宝する。ところがこの水道が頻繁に止まる。どしゃ降りのおとには水源に落ち葉や泥がつまったりホースが強風豪雨でぐでんぐでんに暴れて途切れたり。

ある時、近所の方が家にやってきた。「おたくも、あの水使っているだろう？」仕事で町へ出ていていつ行ってもいないから仕方ない、という家が数件あって（そこにうちも含まれる）これまで修復作業はいつもそこにいる誰かに任せっぱなしになっていた。

皆で使っているのに、詰まった時の修繕を皆でやらないのは不公平だ、今度、班で集まって作業の日取りを決めよう、ということになった。でもそのときも私たちは都合が合わず、作業に参加できない家は 1000 円を払うという所に話は落ち着いていた。

里山の風景は、そこに暮らす人々の営みで形成されている。家や田んぼ周りの草の管理、暮らしを囲む山や水の管理、それらが緩やかに繋がって集落の風景になる。町ではお金と時間を交換して、管理を委託し暮らす人々の手から離れているけれどこの地域には共同管理の作業の習慣がまだたくさん残っている。そのことによって人々の意識にはどのような違いがあるだろう？愛着や受け継ぐ思想、無意識下の肌感覚というか。この豊かさは経済とは別のところにある。

今回、1000 円で作業委任した私はその事に今さらながら気がついた。仕事もしなきゃならないけれど、暮らしも紡いでいきたい。今はその2つが乖離してしまっている。こうして文章にして自戒しつつも、御託を並べる暇があったら黙々と働くおんちゃんを見習ってただ身体を動かせよと言う別の自分も。さて、ここが知恵の絞りどころ。「かろうじて」残してくれているこの豊かさを継ぐ一人になりたいと思う。

